

精度の高い金型で

工場で製品を前に笑顔を見せるキメラ・藤井社長と青山千景



△キメラ
本社・室蘭市香川町24の16。1988年創立。資本金2800万円。売上高13億3000万円(14年12月末)。東京営業所のほか、マレーシアに工場、米国に関連会社がある。

△青山千景(あおやま・ちかげ)1986年(昭61)1月17日、札幌生まれの29歳。北海学園大卒。中学時代からタレントとして活動し00年CMデビュー。07年度ミスさっぽろ。TVh「旅コミ北海道」やFMノースウェーブ「カモシダサナイト」に出演中。

△藤井 徹也(ふじい・てつや)1963年(昭38)6月25日、室蘭生まれの52歳。84年日本工学院専門学校を卒業し、営業、ゴルフ練習場設備保守などの仕事を経て88年キメラ入社。11年、社長に就任した。サザンオールスターズのファンで、好きな曲ベスト3は「真夏の果実」「いと

キメラ 藤井 徹也社長 //

ものづくりの町 //

青山千景がリーダー直撃
21世紀のフロンティア

連載7回目は、金型部品加工メーカーのキメラ・藤井徹也社長(左)。転職を繰り返して、35歳の時にアルバイトで同社に雇用されそこから13年で社長へ。波乱の半生、そして本社を置く室蘭への思いを語ってくれた。(次回は28日掲載予定)

35歳バイトから13年で社長に

—アルバイトから社長になったと聞きました。
「妻を亡くし、東京でしていた仕事を辞めて室蘭に帰ってきました。その時、35歳。知人のついででアルバイトとして偶然入ったのがキメラでした。まだ3歳の幼い娘を養うため必死でした。」
—35歳から新しい仕事、環境。つらかったですか?
「人間こんなことも、やる気になればできるものです。試用期間は3カ月のはずが、1カ月で正社員にしてもらえました。入社翌年には部署長を任せられました。」
—必死さが認められたわけですね。

「ただ、入ったばかりで仕事も難しく、時間が余ってしまいました。そこで油まみれの社内を隅々まできれいに磨き上げました。みんなに心地よく使ってもらうために掃除をしたのです。」
—社長の就任して感懐しました。
「社長に就任して感じたことは？」
「いずれば社長を退くことになりません。指示待ちではなく自ら動き、決断できる人を育てなければならぬと感じていました。決断には覚悟が必要です。この覚悟が大事。また、掃除でもなんでも率先して行動してもらいたい。」



座右の銘を色紙に記した藤井社長

人生重ね「私の義務は恩返し」

—室蘭をもっと元気にしたい。
「キメラとはギリシャ神話に登場する伝説の動物の名前ですが、異種の名を合体するという意味もあります。『鉄の町』、ものづくりの町」という2つの特色を融合した室蘭を盛り上げるのにふさわしい名だと思います。どちらにも関連した会社です。社名通り、室蘭がタプルのですが、「確かに自分の人生と重なります。室蘭は鉄冷えと言われていますが、可能性があります。そして未来の室蘭に恩返しするの私の義務です。この町の盛り上がりはまだまだこれからですよ。」

室蘭盛りに上げたい